



PORSCHE



# ニューポルシェ パナメーラスポーツ ツツーリスモ

プレスキット

# 目次

ハイライト	
<b>アバンギャルドなデザインと4+1シートコンセプト</b>	<b>3</b>
概要	
<b>ラグジュアリーセグメントに新しい多用性をもたらすパナメーラ スポーツツーリスモ</b>	<b>5</b>
エクステリア	
<b>ラグジュアリークラスのための新しいデザイン</b>	<b>8</b>
インテリア	
<b>4+1シートコンセプトを備えた初のパナメーラ</b>	<b>12</b>
コネクティビティ	
<b>ポルシェ・アドバンストコックピット： デジタルディスプレイとコントロールエレメント</b>	<b>14</b>
パフォーマンス	
<b>550PSまでの5つのパワートレインバージョン</b>	<b>18</b>
パワートレイン詳細	
<b>パワフルで効率的：パナメーラ スポーツツーリスモのエンジン</b>	<b>21</b>
アシスタンスシステム	
<b>安全性と快適性を高める革新的なシステム</b>	<b>24</b>
シャシーとシャシーシステム	
<b>性能と快適性の間のワイドなバランス</b>	<b>27</b>
標準装備	
<b>5つの性能クラスのうち4つがエアサスペンションを標準装備</b>	<b>31</b>
特別装備	
<b>幅広いカスタマイズのオプション</b>	<b>34</b>
<b>燃料消費量とCO<sub>2</sub>排出量</b>	<b>39</b>

---

ハイライト

## アバンギャルドなデザインと4+1シートコンセプト

### 1. ニューパナメーラ

2016年にポルシェはニューパナメーラ スポーツカーサルーンをデビューさせました。今回はスポーツツーリスモによって、全く新しいボディタイプを導入します。

### 2. 4+1シートコンセプト

スポーツツーリスモは3つのリアシート(2+1)を備えた初のパナメーラです。オプションで2つの独立したリアシートを選択することもできます。

### 3. アバンギャルドなデザイン

パナメーラ スポーツツーリスモはBピラー後方に独自のデザインを備えます。パワフルなショルダーはそのスポーティな特徴に調和します。

### 4. 多用途なラグジュアリークラス

この新しく、しかもユニークなポルシェ モデルは、ラグジュアリーセグメントのサルーンに比べてさらに多用途かつ実用的です。

### 5. 5名と荷物

優れた輸送能力:パナメーラ スポーツツーリスモは5名の乗員と520リッターまでの荷物を収容します。

### 6. さらなるスペース

リアシートのバックレストを倒すとフラットなローディングフロアになります。1,390リッターまでのラゲッジスペースを確保することができます。

## 7. パワフルなターボエンジン

最高出力243kW(330PS)から404kW(550PS)までのV6エンジンとV8エンジンを搭載したガソリン、ディーゼル、よびプラグインハイブリッドが用意されています。

## 8. 50km以上の電力のみによる航続距離

パナメーラ4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモは、電力のみで排出ガスを発生することなく51kmまで走行することができます。

## 9. ブースターとしての電気モーター

ポルシェのハイブリッドは電気モーターをパフォーマンス向上のために使用します。340kW(462PS)のハイブリッドパナメーラはスポーツカーの走行性能を約束します。

## 10. アダプティブエアロダイナミクス

パナメーラ スポーツツーリスモは、クラスで初めてアダプティブブルーフスポイラーを備えました。エアロダイナミクスシステムが空気抵抗を最適化してダウンフォースを高めます。

## 概要

# ラグジュアリーセグメントに新しい多用性をもたらす パナメーラ スポーツツーリスモ

パナメーラ スポーツツーリスモは全く新しいポルシェの誕生を告げています。このアバンギャルドなデザインとボディコンセプトによってラグジュアリーカーセグメントに新しい水準の多用性を加えます。このスポーツツーリスモは、ショートホイールベースとロングホイールベースによる第2世代パナメーラ スポーツサルーンの2016年のデビューに続き、モデルライン3番目のボディ仕様となります。パナメーラ スポーツツーリスモは、大型テールゲートを備えた独創的なリアセクション、低いローディングエッジ、大きなラゲッジコンパートメント容量、そして4+1シートコンセプトを特徴とします。同時に、新しいポルシェのオールラウンダーは、2009年のデビュー以来パナメーラの世界的ヒットの要因となる快適性とスポーツ性を見事に結合します。パナメーラ スポーツツーリスモには、大きなトルクと効率性を備えた6気筒および8気筒ターボエンジンを搭載する最高出力243kW(330PS)から404kW(550PS)までのガソリン、ディーゼル、およびプラグインハイブリッドの5つのバージョンが用意されています。パナメーラ スポーツツーリスモ全モデルに、アクティブ4WDシステムのポルシェ・トラクション・マネージメントシステム (PTM)と8速ポルシェ・ドッペルクップリング (PDK)が標準装備されます。

## 最大の俊敏性を保証するリアアクスルステアとロール抑制システム

パナメーラ スポーツツーリスモは、パナメーラ モデルラインの全ての技術革新を採用します。そこには、デジタル式ポルシェ・アドバンストコックピット、先駆的なアシスタンスシステムのポルシェ・イノドライブ (アダプティブクルーズコントロールを含む)、リアアクスルステアなどのシャシーシステム、アクティブ制御によるロール抑制システムのポルシェ・ダイナミックシャシー・コントロール・スポーツ (PDCCスポーツ)などが含まれています。さらに、5つのうちの4つのバージョンにアダプティブエアサスペンションが標準装備 (パナメーラ4スポーツツーリスモにはオプション装備)されます。

## アバンギャルドなデザインのオールラウンドスポーツカー

スポーツツーリスモは、クーペスタイルのパナメーラ スポーツサルーンと同様に、非常にダイナミックなプロポーションによって特徴づけられています。全長5,049mm、2,950mmのホイールベースとボディオーバーハングは同様にショートです。スポーツツーリスモは全幅が1,937mm、全高は1,428mm (ターボは1,432mm)です。ゆったりとした車内にもかかわらずこのサイズのおかげでセグメントの他のラグ

ジュアリーサルーンよりボディがワイドで低いため、非常にスポーティなルックスを備えます。ポルシェのチーフデザイナーを務めるミハエル・マウアーは、パナメーラ スポーツツーリスモのBピラーからその後方にかけて完全に独自のデザインを与えました。これによって、ポルシェ デザインのDNAに基づきながらもスポーツサルーン同様にカリスマ的かつ完璧なモデルに仕上がっています。両モデルの均質な個性は、デザインが並行して開発されたことから生まれました。大型のテールゲートを備えたパナメーラ スポーツツーリスモは、力強いショルダーによって特徴づけられています。長く伸びたルーフラインと際立つウインドウラインも特徴的です。ルーフ後部はウインドウラインよりもなだらかに下降してスポーティで紛れもないDピラーへと溶け込みます。

## セグメント初のアダプティブなエクステンディブルルーフスポイラー

ルーフは、テールゲートからポルシェ・アクティブエアロダイナミクス(PAA)の主要コンポーネントであるアダプティブスポイラーへと移行します。ルーフスポイラーの角度が走行条件と選択した車両設定に応じて自動的に3段階にセットされ、リアアクスルに50kgのダウンフォースを追加します。170km/h以下のときは-7度の角度で空気抵抗を抑えて燃費を最適化します。170km/hの速度を超えるとルーフスポイラーは自動的に+1度の“パフォーマンス”ポジションに移動し、走行安定性と横方向のダイナミクスを高めます。オプションのパノラミックルーフを開くと、ルーフスポイラーの角度が再び調節されてリアアクスルのダウンフォースのロスを補います。

## 再設計されたリアの3シート

ニュースポーツツーリスモは3リアシートを備えた初のパナメーラです。最高の乗員快適性を備えたスポーツ性能というモデルラインの要求に合わせて、両側の2つのシートが独立した2+1のリアシート構成を備えます。パナメーラ スポーツツーリスモのオプションには、電動調節式の2つの独立リアシートを備えた4シート構成も用意されています。

## 最大約50リッターのラゲッジ容量の追加（最大1,390リッターの収納スペース）

スポーツツーリスモのリアまで延びた高い位置のルーフラインが後席の乗降を容易にし、広いヘッドスペースも確保しています。ラゲッジコンパートメントの実用性もこの長いルーフラインからメリットを受けます。ワイドな開口部の電動開閉式テールゲートが標準装備され、わずか63cmの高さのローディングエッジも便利です。リアシート上端まで荷物を積み込むとラゲッジコンパートメントの容量は520リ



ッター(パナメーラ4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモは425リッター)で、スポーツサルーンを約20リッター上回ります。リアシートは、全部または個別(40:20:40分割)にラゲッジコンパートメントから電動でロック解除して格納することができます。全てのバックレストを格納するとほぼ平なローディングフロアとなり、ルーフレベルまで積み込むと、ラゲッジコンパートメントの容量は1,390リッターまで拡張されます(パナメーラ4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモは1,295リッター)。これは、50リッターの容量増加に匹敵します。

パナメーラ スポーツツーリスモには、オプションでロードスペースマネージメントシステムが用意されています。広範な荷物を固定して輸送するこの多用途なシステムには、ローディングフロアに統合された2本のレール、4カ所のラッシングポイント、およびパーティションネットが含まれます。助手席足元のラゲッジネットとラゲッジコンパートメントの2つのラゲッジネットによるストレージパッケージを追加することもできます。通行者の視線からラゲッジコンパートメントを隠すリトラクタブルラゲッジコンパートメントカバーが標準装備されます。走行中に電気機器を充電するためにオプションの230V電源ソケットをラゲッジコンパートメントに取り付けることも可能です。また、後席の2つの標準装備のUSBを使用してスマートフォンやタブレットの充電もできます。

## 発売時の5つのエンジン

パナメーラ スポーツツーリスモは、数カ国ですでに注文を受け付けています。2017年秋には欧州市場での発売が予定され、11月末にその他の市場での発売が続きます。ポルシェは、パナメーラ4スポーツツーリスモ(243kW/330PS)、パナメーラ4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモ(340kW/462PS)、パナメーラ4Sスポーツツーリスモ(324kW/440PS)、パナメーラ4Sディーゼル スポーツツーリスモ(310kW/422PS)、そしてパナメーラ ターボ スポーツツーリスモ(404kW/550PS)の5つのパワーtrainバージョンによって発売を開始します。

## エクステリア

# ラグジュアリークラスのための新しいデザイン

ポルシェは、パナメーラ スポーツツーリスモによって、ラグジュアリーセグメントにアバンギャルドなツーリングカーを導入します。ダイナミクス、快適性、多用途性の3本の柱が従来のサルーンに独自の選択肢を追加します。新しいスポーツツーリスモは、ロングまたはショートホイールベースを備えたパナメーラ スポーツサルーンに続く3番目のモデルで、そのダイナミックなデザインとともに新たな機動力をラグジュアリーセグメントにもたらしめます。ヴァイザッハ開発センターのデザイナーは、リアを完全に再設計して、大型ポルシェのデザインの印象、パッケージ、および特徴を変更しました。ミハエル・マウアーとエクステリア・チーフデザイナーのペーター・ヴァルガは、パリモーターショー2012で発表したコンセプトカーのラインをさらに洗練させて量産に移しました。特にスポーツカースタイルの特徴的なショルダーなど、多くの要素が力強いデザインを生み出しています。ポルシェ デザインのDNAに基づきながらもスポーツサルーンと同様に均質で完璧なパナメーラのバージョンが誕生しました。

## シルエット：長いルーフラインと際立つDピラー

パナメーラ スポーツサルーンと同様に、スポーツツーリスモもダイナミックなプロポーションと力強くエレガントなデザインエレメントによって特徴づけられています。ニューポルシェは、全長5,049mm、全高1,428mm(ターボは1,432mm)、全幅1,937mmで、短いオーバーハングの間で延長されたホイールベースは2,950mmです。パナメーラ4スポーツツーリスモ、4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモ、4Sモデルには19インチホイール、ターボ スポーツツーリスモには20インチホイールが標準装備され、オプションで21インチホイールが用意されています。

力強いホイールアーチと目立つショルダーの上部に、細長いウインドウラインと長いルーフラインが広がります。断熱ガラスのティンテッドサイドウインドウが、ポリッシュブラックに塗装されたBピラーとCピラーのトリムとともにリアへと流れる若々しいシャープな表面を形成します。ウインドウはブラック仕上げ(4Sモデル以上はクロム仕上げ)の細長いサイドウインドウトリムによってフレーミングされています。ルーフ後部はウインドウラインよりもなだらかに下降し、特徴的なDピラーを形成します。Dピラーはこのタイプの車では珍しい角度に傾き、ショルダーエリアにスポーツカーのルックスを与えます。パナメーラ全バージョンに共通するひとつの特徴的装備が、フロントフェンダーのエアアウトレットベントです。4と4Sモデルはハイグロスブラック、ターボはボディカラーと同色に塗装されています。



## ルーフテクノロジー：アダプティブルーフスポイラーとパノラミックルーフシステム

パナメーラ スポーツツーリスモには、オプションでパノラミックルーフシステムが用意されています。ポルシェがこれまで開発した最大のスライディングルーフシステムで、2セクションのガラスルーフの前部は、上方へのチルトと全開が可能です。連続調節式の2枚のロールアップブラインドは、必要に応じて車内を強い日差しから保護します。全バージョンにオプションのルーフトランスポートシステムも用意されています。パノラミックルーフシステムの有無にかかわらずルーフの最大積載荷重は75kgです。

ルーフは、テールゲートでポルシェ・アクティブエアロダイナミクス(PAA)のメインコンポーネントであるアダプティブスポイラーへと移行します。ハイグロスブラック塗装仕上げのルーフスポイラーは、170km/hの速度まで空気抵抗を抑えて燃費を改善します。170km/hを超えるとリアアクスルのダウンフォースを高めて車の挙動を最適化します。

ルーフスポイラーは走行条件と選択した車両設定に応じて自動的に2段階にセットされ、リアアクスルに50kgのダウンフォースを追加します。170km/hまでは空力ガイドエレメントが-7度の角度で空気抵抗を抑え、燃費を最適化します。170km/hの速度を超えるとルーフスポイラーは自動的に+1度の“パフォーマンス”ポジションに移動し、走行安定性と横方向のダイナミクスを高めます。“スポーツ”と“スポーツ・プラス”ドライビングモードを選択した場合、90km/hを超えるとルーフスポイラーは自動的にパフォーマンスポジションに移動します。90km/h以上のときにパノラミックスライディングルーフを開くと、PAAのアクティブなアシスタンスによってルーフスポイラーが+26度の角度に調節され、リアアクスルのダウンフォースのロスを補います。ルーフスポイラーは、必要に応じてポルシェ・コミュニケーションマネジメントシステム(PCM)から手動で操作することもできます。エアインテークの可変制御を備えたアクティブクーリングエアインテークを使用して、アクティブなボディエレメントがフロントセクションのエアロダイナミクスを最適化します。

## リアセクション：3Dライトストリップと低いローディングエッジ

リアのデザインは、ルーフスポイラー、力強いスポーツカーのショルダー、そして“Porsche”ロゴを冠した水平ストリップと4灯のブレーキライトを備えたLEDテールライトによって特徴づけられています。ボディ全幅におよぶ水平エレメント上部の細長いライトストリップによって、パナメーラ モデルを夜間に見間

違えることはありません。さらに、一貫した水平構造がパナメーラ スポーツツーリスモの車幅を強調します。水平ストリップの下のテールゲートは、バンパーやサイドボディエレメントと一体化します。電動開閉式テールゲートの下の低いローディングエッジの高さはわずか63cmです。

エグゾーストシステムのバージョン専用ブラッシュステンレススチール製テールパイプとセンターデیفューザーは、リアバンパーに見事に統合されています。パナメーラ4スポーツツーリスモと4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモは、左右の大型テールパイプ、4Sモデルは丸型ツインテールパイプ、パナメーラ ターボ スポーツツーリスモはモデル専用の角型ツインテールパイプによって特徴づけられています。全モデルにオプション装備されるスポーツエグゾーストシステムは丸型のツインテールパイプを備えます。

## フロント：ポルシェ デザインのDNAによる特徴的なフェンダーとボンネット

ニューパナメーラ スポーツツーリスモは、フロントセクションのポルシェ特有の外見をスポーツサルーンと共有します。両モデルともにフロントから見ると非常にワイドです。この効果は、1,937mmの広い全幅（ドアミラーなし）と1,428mm（ターボは1,432mm）の低い全高の比率、そしてフロントセクションの外側に向けたA形のエアインテークによって強調されています。同時に、ラジエーターグリルの厳密に設計されたクロスバーが車幅を引き立てます。目立つパワードームを備えた矢印形のボンネットは、2ドアスポーツカーのデザイン上の特徴であるフロントからの低くワイドなルックスを与えます。パワードームの左右には、精緻なアーチ形のフェンダーがボンネットから隆起します。4灯のLEDデイトタイムランニングライトを備えた3つの異なる仕様のLEDヘッドライトも優位性の感覚を付加します。

## アルミニウム-スチールハイブリッド構造による高強度シャーシ

ポルシェは、スポーツサルーンと同様にスポーツツーリスモにインテリジェントな軽量設計を採用しました。アルミニウム、ボロン鋼、深絞り用鋼板をアルミニウム-スチールハイブリッド構造として使用し、ニューポルシェのボディは、軽量化と同時に高水準のねじり剛性を実現しています。マイクロ合金、高張力鋼、および多相鋼の使用は、特にこの点に関して最高のデータを示しています。

ポルシェは、ストレスを受けにくいボディエリアに標準的にアルミニウムを使用しており、ボディの30%以上にアルミ合金が含まれています。たとえば、ルーフ、フロアパンアッセンブリー、フロントエンド、ドア、フェンダー、ボンネット、およびテールゲートを含むエクステリアがアルミニウム製です。アルミニウム-スチールハイブリッド構造による高水準の材料効率が軽量化に寄与します。その結果、俊敏性が向上して燃費が低減します。

## インテリア

# 4+1シートコンセプトを備えた初のパナメーラ

このパナメーラは、高水準の快適性、ポルシェ特有のスポーツ性、そして高度の多用途性を備えたアバンギャルドなデザインを結び付けます。そのためこのモデルは、ラグジュアリーセグメントの異例として、従来のサルーンの固定したインテリア構造を超えて柔軟性を求める全ての人々の選択肢となります。ニューパナメーラ スポーツツーリスモは、さらに用途の広いリアによってこのモデルラインナップ独自のセールスポイントを強調しています。このニューモデルは、3席のリアシートを備えてポルシェのライプツィヒ工場から出荷される初のパナメーラです。オプションで2つの独立したリアシートを選択することもできます。スポーツサルーンのすでにゆったりとしたラゲッジコンパートメントの容量は、スポーツツーリスモにおいてさらに20リッター（シートを倒してルーフまで積み込むと50リッター）拡大されています。5シーター構成のラゲッジコンパートメントは特に大きく、最大520リッターの容量を備えます。ルーフの高さまで荷物を積み込むと、ラゲッジコンパートメントは1,390リッターまで増加します。

スポーツツーリスモのフロントのインテリアはスポーツサルーンと同じです。この新しいシャシー仕様は、ドライバーと乗員のためのスポーティで人間工学的なシートポジションや、デジタルメータ、クライメートコントロール機能のタッチパネルおよび最新世代ポルシェ・コミュニケーションマネージメントシステム (PCM) を含む標準装備のポルシェ・アドバンストコックピットなどの細部が、強い印象を与えます。センターコンソールに12.3インチタッチスクリーンを備えたPCMは、マルチファンクションインフォテイメントシステムの機能を担います。さらに、マルチファンクションステアリングホイールが標準装備され、パナメーラでは、パネル、インタラクティブメータ、PCM、およびマルチファンクションステアリングホイールがポルシェ・アドバンストコックピットを構成します。

## 後席の3つのシートと広いレッグルームとヘッドルーム

2つのパナメーラ モデルの明らかな違いがリアとラゲッジコンパートメントに見られます。ニュースポーツツーリスモは3リアシートを備えた初のパナメーラです。最高の乗員快適性を備えたスポーツ性能というモデルラインの要求に合わせて、両側の2つのシートが独立した2+1のリアシート構成を備えます。つまり、ニューポルシェは4+1シーターです。パナメーラ スポーツツーリスモのオプションには、電動調節式の2つの独立リアシートを備えた4シート構成も用意されています。スポーツツーリスモの高いルー

フラインが後席の乗降を容易にし、広いヘッドスペースも確保しています。両側のリアシートのレッグルームは特にゆったりとしています。後席の2つの標準装備のUSBを使用してスマートフォンやタブレットの充電もできます。

## あらゆる任務に対応する多用途性

ニュースポーツツーリスモのラゲッジコンパートメントは、標準装備される電動開閉式テールゲート、63cmの低いローディングエッジ、ホイールハウス間のワイドな92cmの幅によって積み込みやすく、1,088mmの長いローディングフロアには重いゴルフバッグも楽に収まります。コンフォートアクセスが装備されている場合は、車がキー信号によってオーナーを検知するのでフットジェスチャーでテールゲートを開閉することができます。

5シート構成によって、収納容量は520リッター（パナメーラ4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモは425リッター）で、リアシートは、全部または個別（40:20:40分割）にラゲッジコンパートメントから電動でロック解除して格納することもできます。ルーフレベルまで積み込むと、収納容量は1,390リッター（4 E-ハイブリッド:1,295リッター）まで拡張されます。

パナメーラ スポーツツーリスモには、オプションでロードスペースマネージメントシステムが用意されています。あらゆる種類の荷物を固定して輸送するこの多用途なシステムには、ローディングフロアに統合された2本のレール、4カ所のラッシングポイント、およびパーティションネットが含まれます。ミーティングに向かう途中でノートパソコンの急速充電が必要な場合は、ラゲッジコンパートメントにオプション装備される230V電源ソケットを使用することもできます。

## コネクティビティ

# ポルシェ・アドバンストコックピット：デジタルディスプレイとコントロールエレメント

パナメーラ スポーツツーリスモには、高解像度ディスプレイや容量性コントロールエレメントを特徴とするポルシェ・アドバンストコックピットが標準装備されます。一方で、メータパネル中央のアナログのレブカウンターはポルシェ356への敬意を示します。アナログメータの下にはデジタル表示のセクションがあり、車速情報などが表示されます。パナメーラ4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモには、パワーメータも含まれます。

レブカウンターの左右には2つの7インチディスプレイがあります。左側のディスプレイはバーチャルレブカウンターで、中央にはアシスタンスシステムからの情報(パナメーラ4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモは追加のハイブリッド専用情報)が表示されます。このメータは“スピード&アシスト”と呼ばれます。レブカウンターの右側は“カー&インフォ”ディスプレイです。ドライバーはこれを使用して車両設定のカスタマイズと表示、またはオンボードコンピューターからの情報の表示を行うことができます。“スピード&アシスト”ディスプレイと“カー&インフォ”ディスプレイは、オプションを選択して個々に設定することが可能です。メータの設定はマルチファンクションステアリングホイールのスイッチで操作できます。

## ポルシェ・コミュニケーションマネージメントシステム (PCM)

ドライバーと助手席乗員の間スイッチパネルには、ポルシェ・コミュニケーションマネージメントシステム(PCM)の12.3インチタッチスクリーンが設置されています。ホーム画面のサブエリアは、タイル型ウィンドウでカスタマイズすることができます。操作にはマルチタッチジェスチャーコントロールを使用し、スマートフォンやタブレットと同様に2本の指でナビゲーションマップを希望の方向に回すことができます。さらに、ディスプレイは手書き入力を識別するので画面にナビゲーションの目的地を手書き入力することが可能です。手をPCMに近づけると、近接センサーがこれを検出して、ディスプレイ左側のコンテキスト関連追加機能のサブメニューバーを開きます。サブメニューが複数ページにまたがる場合は、スマートフォン同様にスワイプ操作でメニューをスクロールすることができます。ディスプレイの右側は、タイル型ウィンドウ(ウィジェット)をユーザー定義のレイアウトで拡張およびカスタマイズし、好みに応じてウィジェットにナビゲーション情報や現在のプレイリストなどを表示することができます。つまり、ウィジェットは個々にカスタマイズ可能な画面によってPCMのメインメニューを強化します。



他のPCMの装備には、オンラインナビゲーション、携帯電話設備、ボイスコントロール、およびオーディオインターフェースが含まれます。PCMには標準装備として150Wの出力を持つサウンドシステムが接続されています。オプションで出力710WのBose®サラウンドサウンドシステム(ターボ スポーツツーリスモに標準装備)または出力1,455WのBurmester® 3Dハイエンドサラウンドサウンドシステムを装備することができます。他にも、ポルシェ・リアシートエンターテインメント、CD/DVDオートチェンジャーおよびデジタルラジオがオプションで用意されています。

## オンライン・インターフェースのコネクト・プラスとポルシェ・コネクトアプリ

パナメーラ スポーツツーリスモには、オンライン・インターフェースのコネクト・プラスが標準装備されます。コネクト・プラスには音声アシストのSiri® を含むApple® CarPlayのアプリとサービス、カーコネクトサービス、コネクトアプリサービス、ポルシェ・トラックプレジジョンアプリ、およびナビゲーション・情報サービスが含まれます。ハードウェアについては、SIMカードリーダー付LTEテレフォンモジュール、スマートフォンコンパートメント、Wi-Fiホットスポットが含まれます。多数のカーコネクトサービスには、セーフティサービス(故障アシスタンスと自動緊急通報)、車両ステータスとカーファインダー、スピードフェンシングとジオフェンシング、および標準装備のポルシェ・ビークルトラッキングシステム(PVTS)が含まれます。スピードフェンシングは、車が第三者によって駆動されるときに規定速度を超えるとアプリが通知を送信します。ジオフェンシングは、パナメーラが特定のエリアを離れると警報を送信します。PVTSは位置追跡機能を備えた盗難検出システムです。パナメーラ4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモのオーナーは、バッテリーと充電管理を含むハイブリッド機能のリモートコントロールも利用することができます。このサービスは、スマートフォンアプリや機能によってはApple® Watchで制御できます。

コネクト・プラスは、“駐車場”(駐車場の検索と空き状況の確認)、“燃料価格”(ガソリンスタンドの検索と燃料価格の確認)、“メッセージの口述筆記”(ボイスコントロールによるSMSの口述筆記と送信)、“ツイッター”(ツイートの読み出し、情報の表示)、“電車情報”、“フライト情報”、“天気”(現在位置または目的地)、“イベント情報”、および“メッセージ”を提供します。これらは全てPCMのメニュー項目で容易に作動することができます。ポルシェ・コネクトアプリによって、スマートフォンとGoogleで出発前に目的地を検索し、PCMに転送することができます。カレンダーの入力と連絡先/住所情報もPCMへの表示、アップデート、および目的地としての設定が可能です。さらに、GPSデータとリンクしたスマートフォンの写真もナビゲーションとして使用することができます。ポルシェ・カーコネクトアプリ機能は、PCMを介して車内で制御・管理されます。パナメーラ スポーツツーリスモは、PCMコネクトからインターネットラジオ

局とオンラインミュージックの膨大な数のセレクションへのアクセスが可能で、Napsterやradio.netなどのサービスを使用して曲をストリーミングすることもできます。ナビゲーションシステムはリアルタイム交通情報も使用します。

## ダイレクトタッチコントロールを使用して構成されたセンターコンソールの機能

PCMエリアのハイエンド高解像度ディスプレイは、シフトバイワイヤーPDKセレクターレバーを備えたセンターコンソールのブラックパネルコンセプトに見事に溶け込みます。センターコンソールのタッチセンサー式スイッチを配した高品質ガラスルックのコントロールパネルによって様々な車両機能とクライメートコントロールを直感的に操作することができます。センターエアベントのスラットもタッチセンサー式スライダーで電子制御されます。後席乗員は、オプションの4ゾーンオートマチッククライメートコントロールシステムとの組み合わせで7インチ高解像度タッチスクリーンディスプレイからクライメート機能とインフォテイメント機能を操作できます。標準装備の2+1シート構成仕様車は、センターシート前部のコントロールパネルで4ゾーンクライメートコントロールを操作します。

## 出力710Wと1,455Wを備える2つのサウンドシステム

パナメーラ スポーツツーリスモにはオプションでBose®サウンドシステムまたはBurmester®サウンドシステムを装備することができます。Bose®サラウンドサウンドシステムはパッシブサブウーファーを含む14個のスピーカー、14チャンネルアンプ、出力710Wを備えます。Burmester® 3Dハイエンドサラウンドサウンドシステムは出力1,455Wにおよび、400Wのアクティブサブウーファーを含む個別調整が可能な20個のスピーカーを備えます。

## ポルシェ・リアシートエンターテイメント

オプションのポルシェ・リアシートエンターテイメントの中心は2台の10インチタッチスクリーンです。フロントシートのバックレストに取り付けたこれらの高解像度反射防止ディスプレイ(1,920×1,200ピクセル)は、車外でもタブレットとして使用できます。リアシートエンターテイメントのサウンドは、タッチスクリーンに統合されたスピーカー、車両サウンドシステム、またはポルシェBluetooth®ヘッドフォンで再生されます。広範なデジタルソースの使用が可能で、SDカード、Jukebox、CD/DVDドライブ、USBスティックでPCMメディアにアクセスできます。後席乗員は、ラジオの操作や、現在のナビゲーションルートと追加情報、車両データの表示も可能です。ポルシェ・リアシートエンターテイメントシステムは、PCMナビゲーションシステムの目的地の入力もできます。Google® Play Storeの全ての製品へのアクセスによって

リアシートエンターテイメントの機能の範囲がさらに拡大されます。タッチスクリーンまたはPCMを使って操作するこのシステムはAndroidオペレーティングシステムを使用します。32 GBの内蔵フラッシュメモリを備え、micro SDカードで拡張することが可能です。タッチスクリーンにはビデオ通話とチャットのためのカメラも装着されています。

## パフォーマンス

# 550PSまでの5つのパワートレインバージョン

ポルシェは243kW(330PS)から404kW(550PS)まで5つのパワートレイン仕様のパナメーラ スポーツ ツーリスモを提供します。V6およびV8エンジンは全て新開発され第2世代パナメーラとともにデビューしました。スポーツツーリスモにはガソリンエンジン、ディーゼルエンジン、およびプラグインハイブリッドが用意されています。全てのガソリンエンジンとディーゼルエンジンは、シリンダーブロックのVバンク内側に、ターボ/ツインターボシステムを統合した革新的なセンターターボレイアウトのエンジンコンセプトを採用しています。ダイレクトフューエルインジェクターも燃焼室の中央に配置されています。このターボチャージャーの位置によってエグゾーストの経路が短縮され、タービンの高水準の応答性が得られます。一方、中央のインジェクターによるダイレクト・フューエル・インジェクションは燃焼を最適化して俊敏性と効率性を高めます。

V6エンジンとV8エンジンはバリオカム・プラスも備えます。このシステムによって、インテークとエグゾーストのカムシャフトの調節(各々50度まで)とインテークバルブのバルブリフトの作動ができます。インテークバルブの可変バルブリフトと可変オープニングタイミングによって特に部分負荷時の俊敏性と燃費を改善します。エンジンの出力は8速ポルシェ・ドッペルクップリング(PDK)とポルシェ・トラクション・マネジメントシステム(全輪駆動PTM)によって2本のドライブアクスルに伝達されます。パナメーラ スポーツ ツーリスモの全バージョンにオートスタート/ストップ機能とコースティングモードも装備されます。

243kW(330PS)のV6ターボガソリンエンジンを搭載したパナメーラ4スポーツツーリスモはパナメーラのエントリーバージョンです。次のパフォーマンスレベルが最高出力324kW(440PS)のV6ツインターボガソリンエンジンを搭載したパナメーラ4Sスポーツツーリスモです。最高システム出力340kW(462PS)のプラグインハイブリッド(V6ツインターボガソリンエンジンと電動リックモーター)を搭載したパナメーラ4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモも用意されています。最もパワフルなガソリンエンジンは、V8ツインターボが404kW(550PS)を発生するパナメーラ ターボ スポーツツーリスモです。パナメーラ4Sディーゼル スポーツツーリスモは310kW(422PS)を発生するV8ツインターボを使用します。

最高出力243kW(330PS)のパナメーラ4スポーツツーリスモは0-100km/h加速タイムが5.5秒、最高速度は259km/hです。オプションのスポーツクロノパッケージとローンチコントロールを組み合わせると0-100km/h加速タイムはわずか5.3秒をマークします。パナメーラ ターボ スポーツツーリスモはクラスで最もスポーティなモデルのひとつで、0-100km/h加速タイムは3.8秒、最高速度は304km/hに達します。スポーツクロノパッケージを組み合わせると0-100km/h加速タイムはわずか3.6秒です。

スポーツクロノパッケージは、ステアリングホイールのモードスイッチとスポーツレスポンススイッチで操作します。モードスイッチは、ノーマル、スポーツ、スポーツ・プラス、およびインディビジュアルの4つのドライビングモードを作動します。スポーツレスポンススイッチはモードスイッチの中央に取り付けられており、このスイッチを押すと最高の俊敏性とともによりパナメーラ スポーツツーリスモの最高の出力を20秒間引き出すことができます。このときエンジンの応答性はより自発的になり、8速ポルシェ・ドッベルクップリング(PDK)はよりダイナミックなシフティング特性に切り替わります。スポーツクロノパッケージは、パナメーラ スポーツツーリスモの全モデルで注文することができます。パナメーラ4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモには標準装備されます。このモデルのモードは、電気モーターのみで走行する“E-パワー”、V6エンジンと電気モーターの組み合わせを自動制御する“ハイブリッドオート”、バッテリーの充電状態を維持する“E-ホールド”、走行中にV6エンジンでバッテリーを充電する“E-チャージ”によるハイブリッド専用モードとなります。モードスイッチまたはPCMからこれらの機能を選択することができます。

パナメーラ スポーツツーリスモの全モデルの最高出力、最大トルク、最高速度、0-100km/h加速タイム(スポーツクロノパッケージ装備/非装備)の概要

パナメーラ4スポーツツーリスモ:

243kW(330PS)、450 N•m、259 km/h、0-100km/h:5.5秒/5.3秒

パナメーラ4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモ:

340kW(462PS)、700N•m(システム連携)、275km/h、0-100km/h:4.6秒

パナメーラ4Sスポーツツーリスモ:

324kW/440PS、550N•m、286km/h、0-100km/h:4.4秒/4.2秒

パナメーラ ターボ スポーツツーリスモ:

404kW(550PS)、770N・m、304km/h、0-100km/h:3.8秒/3.6秒

パナメーラ4Sディーゼル スポーツツーリスモ:

310kW (422PS)、850N・m、282 km/h、0-100km/h:4.5秒/4.3秒



## パワートレイン詳細

# パワフルで効率的：パナメーラ スポーツツーリスモのエンジン

パナメーラ4スポーツツーリスモの3リッターV6ガソリンエンジンは最高出力243kW(330PS)/5,400–6,400rpm、1,340–4,900rpmの広範な回転域で最大トルク450N・mを発生します。ターボ、4 E-ハイブリッド、4S、および4SディーゼルのV型エンジンにはツインターボが採用されています。330PSの新しいV6エンジンはシングルターボです。404kW(550PS)のターボ同様にターボチャージャーはツインスクロールで、エンジンの応答性を最適化します。ツインスクロールのオプションは2,995ccエンジンの効率性を高めるために選ばれました。パナメーラ4スポーツツーリスモの燃料消費量(複合、NEDC)は7.9–7.8リッター/100kmです。

パナメーラ4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモは、V6ガソリンエンジンと電気モーターの2つのパワートレインを使用します。V6エンジンは、最高出力243kW(330PS)/5,250–6,500rpmを発生します。エンジンの構造は異なりますが最高出力はパナメーラ4スポーツツーリスモと同じです。4 E-ハイブリッドのV6はツインターボで総排気量2,894cc、最大トルクは450N・m/1,750–5,000rpmです。電気モーターの最高出力は100kW(136PS)、最大トルクは400N・mです。両方のパワートレインが連動するとき(“ハイブリッドオート”モード)最高システム出力340kW(462PS)/6,000 rpm、最大トルク700N・m/1,000–4,500rpmを発生します。プラグインハイブリッドモデルの燃料と電力の消費量(複合、NEDC)は2.5リッター/100kmおよび15.9kWh/100kmです。

プラグインハイブリッドポルシェは、常にほぼ無音の電気モードでスタートします。パナメーラ4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモは、51kmの航続距離まで最高速度140km/hのエミッションフリー車(“E-パワー”モード)として使用することができます。さらに、電気エネルギーを加速と最高速度を高めるために使用することもできます。スポーツツーリスモの高電圧バッテリーは、230V/10Aの電源を使用して6時間弱でフル充電します。パナメーラに標準装備される3.6kWチャージャーの代わりにオプションの7.2kWオンボードチャージャーと230V/32Aの電源を使用すると、2.4時間でフル充電されます。

パナメーラ4Sスポーツツーリスモは、総排気量2,894ccのV6ツインターボエンジンが最高出力324kW(440PS)/5,650–6,600rpm、1,750–5,500rpmの広範な回転域で最大トルク550N・mを発生します。燃料消費量(複合、NEDC)は8.3–8.2リッター/100kmです。

パナメーラ ターボ スポーツツーリスモはV8ガソリンエンジンを搭載します。総排気量3,996ccの4リッターツインターボエンジンが最高出力404kW(550PS)/5,750–6,000rpm、最大トルク770N・m/1,960–4,500rpmを発生します。高い出力は純粋な効率性によって調和し、パナメーラ ターボ スポーツツーリスモの複合燃費は9.5–9.4リッター/100kmです。この最も印象的な技術仕様のV8ツインターボ直噴エンジンもセンターターボレイアウトでこの場合複雑なツインスクロールターボチャージャーを備えます。反対方向に回転する2つのタービンが低回転域から最大のトルク値を発生します。V8のデザインハイライトとして独自のセールスポイントとなるのがアダプティブシリンダーコントロールです。部分負荷作動においてシステムは気付かないうちに一時的に8気筒から4気筒エンジンに変わります。つまり、出力要求に応じて4気筒フェーズで作動することによって燃費が30%まで削減されます。シリンダーの作動と作動解除は2ステージバルブリフトシステムを備えたバリオカム・プラスによって制御され、2番、3番、5番、および8番シリンダーのバルブドライブが必要に応じて作動または解除します。シリンダーの作動解除は950–3,500rpmの回転域で作動し、250N・m以下にトルクを制限します。

これまでのポルシェ市販車で最もパワフルなディーゼルのパナメーラ4Sディーゼル スポーツツーリスモは、総排気量3,956ccのV8エンジンが最高出力310kW(422PS)/3,500–5,000rpm、最大トルク850 N・m/1,000–3,250rpmを発生します。高圧ダイレクト・フューエル・インジェクションは最大噴射圧2,500barのコモンレールシステムを使用します。ターボディーゼルの複合燃費は6.8–6.7リッター/100kmで、75リッターの燃料タンク容量が1,200kmの航続距離を備え、オプションの90リッタータンクを使用すると1,475 kmまで延長されます。

4Sディーゼルはセンターターボレイアウトのツインターボチャージャーも備えます。コモンレールエンジンは、ガソリンエンジンと異なりシーケンシャルターボチャージャーを備えます。これによって8気筒エンジンは、作動負荷に応じてツインターボまたはシングルターボとして作動します。低、中回転域では、全ての排気ガスが2つのうちの1つのターボチャージャーのみに向けられエンジンの応答性を改善します。V8ディーゼルエンジンは1つのターボチャージャーのみで1,000rpmの低回転域から最大トルクを発生します。2つめのターボチャージャーは最高出力が要求される高回転域でのみ作動します。どちらのチャージャーも可変タービンジオメトリー (VTG) を備えます。

## 標準装備されるボルシェ8速PDK

第2世代の全パナメーラ、そしてスポーツツーリスモモデルに8速ボルシェ・ドッペルクップルング (PDK) が装備されます。全体にギア比が拡張された8速トランスミッションは最高の快適性と俊敏性を備え、7速と8速はエンジン回転数を低減するオーバードライブギアとして設計されているため燃料消費量がさらに削減されます。全てのパナメーラは6速で最高速度に達します。8速PDKは、全てのデュアルクラッチトランスミッション同様に、“スタンバイ”モードで作動を待つことによって何分の1秒単位で次のギアに移動し、トルクの中断がありません。

## 電子制御マルチプレートクラッチを装備したアクティブ4WD

パナメーラ スポーツツーリスモ全モデルに、電子制御マルチプレートクラッチを備えたアクティブ4WDシステムのボルシェ・トラクション・マネージメントシステム (PTM) が標準装備されます。走行状況に応じて、マルチプレートクラッチがフロントアクスルとリアアクスル間のトルクを最適に配分します。そのためPTMセンサーはホイールの回転数、前後Gと横G、操舵角を常時モニターします。PTMはドライ路面とともにウェットや雪の路面の両方の性能を最適化します。

## アシスタンスシステム

# 安全性と快適性を高める革新的なシステム

ニューパナメーラ スポーツツーリスモは標準装備とオプションの広範なアシスタンスシステムを備えます。最も重要な安全システムのひとつがオプションのナイトビューアシストで、熱探知カメラを使用して人や大型動物を検知し、コックピットにカラーの警告を表示します。アダプティブクルーズコントロールを含むポルシェ・イノドライブコンフォートシステムは独創的な装備で、3D高解像度ナビゲーションデータに基づいて、次の3kmの最適な加速値と減速値、ギア選択、およびコースティングフェーズを計算して適用します。その際に、この電子制御コパイロットは、コーナー、勾配、制限速度を考慮します。レーダーとビデオセンサーが他の車両と制限速度を検出して制御過程に組み込みます。

## 重大な状況を事前に回避するナイトビューアシスト

オプションのナイトビューアシストは、フロントの熱探知カメラがあらゆる生物の赤外線放射を検知します。この情報に基づいてコントロールユニットが“温度差画像”を計算し、ポルシェ・アドバンストコックピットの右側ディスプレイ(“カー&インフォ”)に結果を表示します。熱探知カメラが人や動物を検知すると、白黒画像がイエローに変わります。このカラーの変化によって事前警告を直感的に認識することができます。

システムが危険な状況と判断すると、マーキングがレッドに切り替わります。同時に“スピード&アシスト”メータ(レブカウンターの左)に、“pedestrian warning”(歩行者警告)または“animal warning”(動物警告)の文字とシンボルが表示されます。野生動物の行動は予測できないため、システムは人と動物を区別し、警告音も鳴らします。スポーツツーリスモにLED マトリックスヘッドライト(PDLS Plus)がオプション装備されている場合は、危険と分類された歩行者がヘッドライトのマトリックスビーム機能によって短く3回照射されます(歩行者がこのフラッシュ機能に気付くことはほとんどありません)。これはブレーキングやコーナリング中の識別性能を大幅に改善します。できるだけ迅速に減速するために事前にブレーキも準備されます。

ナイトビューアシストは250km/hまでの速度で作動します。市街地では“animal warning”(動物警告)を自動的に解除して、リードにつながれた犬などによる誤作動を防ぎます。

## アダプティブクルーズコントロールを備えたポルシェ・イノドライブが道路を予測

アダプティブクルーズコントロールを備えたポルシェ・イノドライブは特に独創的な装備です。システムは、ナビゲーションデータに基づいて次の3kmの最適な加速値と減速値を計算し、エンジン、8速PDK、およびブレーキシステムをそれに合わせて作動します。この電子制御コパイロットは、このようにして、コーナー、勾配、速度制限を考慮し、レーダーとビデオセンサーで現在の交通状況を検知して制御プロセスを調整します。ポルシェが独自に開発したイノドライブは、効率性を改善し、ナビゲーション予測データによって、コースティング、トレーリングスロットル・フューエルカットオフ、シリンダー・シャットオフ（パナメーラ ターボ スポーツツーリスモ）、およびブレーキングなどの車両機能をこれまで以上に効率的に制御して、燃費を改善します。

さらにポルシェ・イノドライブは、アダプティブクルーズコントロールの使用時の快適性とダイナミクスにおいてもメリットをもたらします。システムは環状交差点なども認識し、前もってその条件に車速を調節します。“スポーツ”モードの作動時には、イノドライブもダイナミックなマップに切り替わります。従来のアダプティブクルーズコントロールと同様に、レーダーとビデオセンサーが前方車両との距離をモニターして連続的に車間距離を調節します。

## 高速道路の快適性と安全性を高めるアダプティブクルーズコントロール

昨年半ばに最新のパナメーラが導入されたとき、従来のアダプティブクルーズコントロールシステムの機能とパフォーマンスが大幅に改善されました。第2世代パナメーラでは、1台（通常はフロントセクションの中央に設置）ではなく、2台のレーダーセンサーが使用されています（左右のバンパーに設置）。さらに、アダプティブクルーズコントロールはカメラセンサーからの情報も使用します。このような改善によって、前方車両の距離のモニターの信頼性がさらに高まり、横の車線から車線変更して合流する車両をより迅速に検出します。必要に応じて、システムは停止するまで車にブレーキをかけます。パナメーラは、オートスタート/ストップ機能によって自動的に停止することもできます。3秒以上停止すると、ドライバーがアクセルペダルを軽く踏むか、ステアリングホイールのスイッチを操作して、再度発進する必要があります。アダプティブクルーズコントロールは、30–210km/hの走行速度で作動し、可能な限りコースティング機能（エンジンニュートラル、クラッチ解除）を使用して燃費を低減します。

## 安全面で明らかなメリットを提供するレーンチェンジアシスト

レーンチェンジアシストは、リアバンパーの2つのレーダーセンサーを使用して左右後方車線から近づく車の距離と走行速度を検出します。これらの2つのデータから危険を判断すると、関連側のドアミラーに警告灯を点灯して、死角に入る他の車を見逃す危険を低減します。システムは、走行速度が15–250km/hのときに70m以内の距離の車両を検出します。

## 交通標識認識機能を備えたレーンキーピングアシスト

レーンキーピングアシストは、田舎道の最も頻度の高い事故原因のひとつである不注意による走行車線の逸脱の危険を低減します。パナメーラ スポーツツーリスモに使用されるシステムは、走行速度が65–250km/hのときにフロントウインドウのカメラによって車線を検出します。インジケータライトを作動せずに車線を外れると、電気機械式ステアリングシステムによって自動的に反対方向に操舵されます。警告音やメータパネルへの警告表示をPCMで設定することもできます。システムには、レーンキーピングアシストと同じカメラを使用する交通標識認識機能も含まれています。



## シャシーとシャシーシステム

# 性能と快適性の間のワイドなバランス

パナメーラ スポーツツーリスモの総合コンセプトに合わせて、シャシーもラグジュアリーサルーンの走行快適性とスポーツカーの性能を兼ね備えます。これは優れた基本レイアウトを補完する広範な革新的シャシーシステムによって得られます。ポルシェは、リアアクスルステアによって、スポーツカーのステアリング精度とハンドリングをラグジュアリーセグメントにもたらしめました。広範なシャシーシステムには、電子制御ダンパーコントロールのポルシェ・アクティブサスペンション・マネージメントシステム (PASM) を組み込んだ3チャンバーテクノロジーによるアダプティブエアサスペンション、ポルシェ・トルク・ベクトリングプラス (PTV Plus) を組み込んだ強化されたポルシェ・ダイナミックシャシー・コントロール・スポーツ (PDCCスポーツ)、および電気機械式パワーステアリングが含まれます。さらに、統合された4Dシャシーコントロールシステムが車両の全てのシャシーシステムをリアルタイムに分析・同期して、パナメーラ スポーツツーリスモのハンドリング性能を最適化します。

ニューパナメーラ スポーツツーリスモは、スポーツサルーンに比べてさらに大きな積載荷重を可能にします。そのためにニューモデルのブレーキシステム調整し、全バージョンでブレーキディスクのサイズを増やしました。ブレーキディスクの外径は、フロント390mm、リア365mmで、パナメーラ ターボ スポーツツーリスモは、フロント410mm、リア380mmです。スポーツサルーン同様に、モータースポーツで実証済みのポルシェ・セラミックコンポジット・ブレーキ (PCCB) を注文することもできます。極めて耐久性に優れたPCCBはフロント420mm、リア410mm、標準ディスクより約50%軽量化されています。

## 土台としてバランスよく調整されたアクスルコンセプト

パナメーラ スポーツツーリスモのフロントには、鍛造アルミニウム製ウィッシュボーンと中空鋳造アルミニウム製軽量ピボットベアリングを備えたダブルウィッシュボーンサスペンションが使用されています。アクスルとエラストキネマティクスが、最高水準の走行快適性を維持しながら最適な俊敏性と精度を保証します。下部ウィッシュボーンの大形の油圧式ダンパーエラストマーベアリングが快適性をさらに高めます。さらに、ピボットベアリング上のスタビライザーリンクによって、快適性を最適化するモノチューブダンパーの使用が可能になります。電気機械式ステアリングにボルト締めされたアルミニウム製サブフレームも、抜群のドライビングダイナミクスと俊敏なハンドリングを保証します。特にステアリング精度と方向安定性が改善されています。リアアクスルには、鍛造アルミニウム製上部ウィッシュボーンと中空鋳造アルミニウム製下部ウィッシュボーンを備えた軽量なマルチリンクサスペンションが使用さ

れています。ここでも最適化されたアクスルとエラストキネマティクスが高水準の走行快適性ととも  
最高の俊敏性と精度を保証します。さらにキネマティクスは、リアアクスルステア、電気機械式PDCC  
スポーツ、およびアダプティブエアサスペンションも統合します。

## スポーツツーリスモにコンパクトカー同様の操縦性を与えるリアアクスルステア

パナメーラ スポーツツーリスモにはオプションでリアアクスルステアも用意されています。50km/hま  
での低速域では、走行速度に応じてリアホイールをフロントホイールと反対の方向に最大2.8度の操  
舵角まで操舵します。これはホイールベースを短くした場合と同様の効果があり、コーナリングのダイナ  
ミクスを強化して駐車操作を容易にします。50km/h以上の速度域では、システムは走行速度に  
フロントホイールと同一方向にリアホイールを操舵します。これはホイールベースを延長した場合と同  
様の効果があり、特に高速道路での迅速な車線変更の際に走行安定性を高めます。パナメーラの  
リアアクスルステアは、アクティブセーフティとドライビングダイナミクスを改善し、低速域では必要  
な操舵角を抑えて快適性を高めます。さらにリアアクスルステアは、フロントアクスルのいっそうダイ  
レクトなステアリングレシオを可能にします。

## 統合されたポルシェ4Dシャシーコントロール

ポルシェは、中央に接続されたシャシー用コントロールシステムの4Dシャシーコントロールを開発し  
ました。今までのシャシーシステムは、大部分が互いに独立して作動し、独自のセンサーを使用して他  
のシステムに  
応答していました。ポルシェ4Dシャシーコントロールは、現在の走行条件を3次元(前  
後、横、および垂直G)から分析して、このデータを走行条件について最適な情報を計算するた  
めに使用し、情報をリアルタイムで全てのシャシーシステムに一貫して利用できるようにします。つまり  
4次元のシャシーコントロールです。これによってシステムは差し迫った走行状況に総合的に  
応答  
することができます。

## ポルシェ・アクティブサスペンション・マネージメントシステム (PASM)

標準装備のポルシェ・アクティブサスペンション・マネージメントシステム (PASM) は電子制御ダンパー  
コントロールで、路面状況やドライビングスタイルのデータに応じて各ダンパーの減衰力を無段階に  
調節します。“ノーマル”、“スポーツ”、“スポーツ・プラス”の3種類のドライビングモードが用意されてい  
ます。高速走行時、制動時、高速コーナリング時、または悪路の走行中にセンサーがボディの動きを

検出するとPASMが作動します。PASMは捕捉したデータをポルシェ4Dシャシーコントロールに送信します。新しいコントロールセンターが現在の路面条件を計算して、ドライビングモードに応じてPASMのダンパーの硬さを制御します。4Dシャシーコントロールによって他の電子制御シャシーシステムの制御パラメーターも連動します。その結果、走行安定性、性能、および快適性が向上します。PASMはアダプティブエアサスペンションとの組み合わせによっていっそう大きな可能性を備えます。このとき、ダンパー特性とスプリングレートの両方を変えて組み合わせることができるので、スポーツ性と快適性の境界が広がります。

## **PASMを組み込んだアダプティブエアサスペンション**

ニューパナメーラ スポーツツーリスモの5つのうち4つのバージョンに3チャンバーエアサスペンションが標準装備(パナメーラ4スポーツツーリスモにはオプション装備)されます。アダプティブエアサスペンションは特に快適性について新しいベンチマークを設定します。初代パナメーラのエアサスペンションに比べて大幅に改善された現在のシステムは、スプリングストラットごとに2つではなく3つの切り替え式エアチャンバーを備え、空気量が約60%増加しています。これによってスプリングレートがさらに向上します。シャシーは快適性を高めるベーシックな低いスプリングレートに設定されており、加速時や制動時またはロールを抑える時など、必要な際には何分の1秒の単位で直ちにスプリングレートが電子制御されます。

さらにエアサスペンションは、よく知られたセルフレベルリング機能によるメリットも提供します。ノーマルレベルとともに、リフトレベルとローレベルが用意されています。たとえばリフトレベルは、シャシーを20mm持ち上げることによって例えば地下の駐車場に入るときにフロントスポイラーが損傷するのを防ぎます。ローレベルはフロントアクスルを28mm、リアアクスルを20mm下げて、高速走行時に道路に対する車の姿勢を適合させてエアロダイナミクスを改善します。

## **PTV Plusを組み込んだアクティブなロール安定化システムのPDCCスポーツ**

パナメーラ スポーツツーリスモのポルシェ・ダイナミックシャシー・コントロール・スポーツ(PDCCスポーツ)は、電気機械式スタビライザーの統合によってドライビングダイナミクスを最適化します。このシステムは油圧アクチュエーターを備えたシステムよりはるかに迅速に反応し、スタビライザーを硬化してボディのロールを防ぎます。アクティブなロール安定化システムは、パナメーラと911スポーツカーの間のギャップを埋めます。

ポルシェはパナメーラにおいてPDCCスポーツとポルシェ・トルク・ベクトリングプラス (PTV Plus) を組み合わせます。PTV Plusの電子制御リアディファレンシャルがリアホイール間の可変トルク配分を行い、各ホイールにブレーキをかけてリアアクスルにステアリングトルクを追加します。その結果、さらに俊敏なステアリング特性が得られます。一方PTV Plusは、コーナー出口の加速時にディファレンシャルロックを適宜使用して高水準のトラクションを付加します。PDCCスポーツとPTV Plusの両テクノロジーの結合によって、パナメーラはドライビングダイナミクスについて大型サルーンに独自のクラスを築きます。

## 標準装備

# 5つの性能クラスのうち4つがエアサスペンションを標準装備

ポルシェは伝統的に一般的な装備仕様のモデルを提供することはありません。標準装備と専用の個性化はエンジンサイズに関連します。その例が、4 E-ハイブリッド、4S モデル、およびターボに標準装備され、パナメーラ4スポーツツーリスモにオプション装備される3チャンバーエアサスペンションです。ニューパナメーラ スポーツツーリスモの性能クラスは、エンジン専用の標準装備を備えている限り外見から容易に識別できます。

## エクステリア：性能を示すホイール、テールパイプ、および追加パーツ

エクステリアでは、パナメーラ スポーツツーリスモのエンジン仕様は、ホイールとブレーキ、エグゾーストシステムのテールパイプ、およびボディの追加パーツとトリムストリップによって区別されます。その他の識別装備にはモデル名ロゴが含まれます(装備時)。

ホイールとブレーキ:パナメーラ4スポーツツーリスモと4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモには19インチホイール(“パナメーラ”デザイン)が標準装備されます。ガソリンエンジンモデルのブレーキキャリパーはブラックに塗装され、ハイブリッド仕様はアシッドグリーンです。4Sモデルも19インチホイール(“パナメーラS”デザイン)が装着されます。4Sモデルのブレーキキャリパーはチタニウムグレーです。ターボ スポーツツーリスモには20インチホイール(“パナメーラ ターボ”デザイン)が標準装備され、ブレーキキャリパーはレッドです。

テールパイプ:ブラッシュステンレススチール製テールパイプもエンジンサイズを示します。パナメーラ4スポーツツーリスモと4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモは左右のシングルテールパイプ、4Sモデルは丸型ツインテールパイプ、パナメーラ ターボ スポーツツーリスモはモデル専用の角型ツインテールパイプによって特徴づけられています。

追加パーツとトリムストリップ:パナメーラ全バージョンに共通の装備がフロントフェンダーのエアアウトレットベントです。4と4Sモデルはハイグロスブラック、パナメーラ ターボ スポーツツーリスモはボディカラー同色塗装です。パナメーラ4スポーツツーリスモと4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモのサイドウィンドウトリムはブラックに、4Sモデルとターボはハイグロスシルバーに塗装されます。

さらに、パナメーラ スポーツツーリスモ全モデルにLED ヘッドライト(ターボはポルシェ・ダイナミック・ライトシステム< PDLS >を含む)、4灯のLEDデイタイムランニングライト、4灯のブレーキライトとライトストリップを組み込んだ3DのLEDテールライト、ウェルカムホームライトを含むヘッドライトの自動作動、およびミラーハウジングのカーテシライトが備わります。

## エクステリアの機能的装備：常に電動で開閉するテールゲート

機能的な観点では、フロントウインドウワイパーのレインセンサー、電動格納式自動防眩ドアミラー、および電動開閉式テールゲートが標準装備されます。さらに、駐車操作時に障害物を警告音と警告表示で知らせるフロントとリアのパークアシスト、車内への乗降を容易にするステップレス・ドア・ポジショニングが装備されます。ドアは、通常のように規定位置まで開くのではなく開いた角度に保持されるので、駐車時のドアによる損傷を防ぐことができます。

## 安全装備：8個のエアバッグとアクティブボンネット

クラッシュ最適化ボディと追加のパッシブセーフティシステムの組み合わせがパナメーラ スポーツツーリスモの最高水準の保護を保証します。ポルシェ・サイドインパクト・プロテクションシステムは車の側部の安全性を付加します。このシステムは、ドアの側面衝突保護エレメントとフロントシートのサイドボルスターに統合された胸部エアバッグで構成されます。

ポルシェ・サイドインパクト・プロテクションシステムは、ルーフフレーム全体とサイドウインドウをカバーするカーテンエアバッグで完結します。フロントは、運転席と助手席にフルサイズエアバッグとニーエアバッグが装着されます。パナメーラ スポーツツーリスモには合計8個のエアバッグが標準装備(リアサイドエアバッグはオプション装備)されています。リアのISOFIXマウントはチャイルドシートをしっかりと固定します(フロント助手席はオプション装備)。アクティブボンネットは歩行者を保護します。

## インテリア：標準装備されるレザー、アドバンストコックピット、およびコネクト・プラス

パナメーラ4スポーツツーリスモ、4 E-ハイブリッド、および4Sモデルにはパーシャルレザーシート(パナメーラ ターボ スポーツツーリスモはフルレザーインテリア)が標準装備されます。



タッチパネル(エアコン機能などのダイレクトタッチコントロール)と個別に設定可能なディスプレイを備えたポルシェ・アドバンストックピットが標準装備されます。インタラクティブなコックピットは2つの7インチディスプレイとアナログのレブカウンターで構成されます。センターコンソールの12.3インチタッチスクリーンは、ポルシェ・コミュニケーションマネージメントシステム(PCM)のセンターコントロールとディスプレイエレメントとして機能します。マルチファンクションステアリングホイールも標準装備されます。パネル、インタラクティブコックピット、PCM、およびマルチファンクションステアリングホイールの全てが結び付いてポルシェ・アドバンストックピットを形成します。PCMの標準機能のひとつがポルシェ・ビークルトラッキングシステム(PVTS)です。パナメーラが盗難された場合、PVTSが車の位置を確認し、自動的にアラームセンターに通報します。

その他のインテリア標準装備には、新しい2+1リアシート、キーレススタートシステム、自動防眩ルームミラー、2ゾーンクライメートコントロール、クルーズコントロール、およびフロント(4Sモデル)またはフロントとリア(ターボ)のヒートッドシートが含まれます。フロントには、高さ、前後調節、座面とバックレストの角度を調節可能な電動8-wayシートが装備されます。ターボには、座面の固さ設定、4-wayランバー調節、メモリー機能(ステアリングコラム、ドアミラー、その他の車両設定を含む)を追加した電動14-wayシートが装備されます。

## 特別装備

# 幅広いカスタマイズのオプション

ポルシェ エクスクルーシブと様々な独自の装備によって、パナメーラ スポーツツーリスモのカスタマイズオプションはほぼ無限です。この高水準な工場レベルの個性化は、数十年にわたるポルシェの特別なサービスとなっています。エクスクルーシブ プログラムでは、お客様は理論的に考えられるあらゆるボディカラーを選択することができます。しかし個性化オプションには、あらかじめ設定されたカラー、インテリアデザイン、レザー、および装備が用意されています。

## 16色のボディカラー、12色のインテリアカラーパレット、6つのパッケージ

16色のボディカラーには、ホワイトとブラックの2色のスタンダードカラー、カーマインレッド、GT シルバーメタリック、アメジストメタリック、チョークの4色のスペシャルカラー、キャララホワイト、ディープブラック、ボルケーノグレー、ロジウムシルバー、サファイアブルー、ミッドナイトブルー、アゲートグレー、マホガニーの8色の追加のメタリックカラーが含まれます。

12色のインテリアカラーパレットとレザーがボディカラーに追加されます。ここには、ブラック、アゲートグレー（標準装備）、マルサラ、サドルブラウン（ターボの標準装備）の4色の単色、そしてブラック/ボルドーレッド、マルサラ/クリーム、ブラック/チョーク、サドルブラウン/ルクソールベージュ、ブラック/サドルブラウン、ブラック/ルクソールベージュの6つのツートンカラーが含まれます。トリュフブラウンとコーヒーブラウンの2色のクラブレザーカラーも用意されています。

インテリアの個性化に追加されるのが、ブラックインテリアパッケージ、ボディカラー同色塗装インテリアパッケージ、レザーインテリアパッケージ、アルミニウムインテリアパッケージ、カーボンインテリアパッケージ、ウッドインテリアパッケージの6つのパッケージです。スイッチパネルとドアのトリム、センターコンソールのデザインエレメントにも、スタンダードカラーまたはスペシャルカラーのレザー、カーボン、アルミニウム、ウッドの塗装または仕上げが用意されています。ウッドは、ダークバーウォルナット、アンスラサイトバーチ、アンバー、パラドが揃います。マルチファンクションステアリングホイールは、レザー/カーボンまたはレザー/ウッドを注文することもできます。どちらもヒーター付です。ルーフライニング、サンバイザー、ルーフコラムはアルカンターラを注文することもできます。

## その他のオプション装備（選択）の概要

### エンジン

- スポーツクロノパッケージ(4 E-ハイブリッドに標準装備)
- スポーツエグゾーストシステム
- スポーツテールパイプ
- 90リッターフェューエルタンク(ターボに標準装備)

### シャシー

- パワーステアリングプラス
- ポルシェ・アクティブサスペンション・マネージメントシステム (PASM)を含むアダプティブエアサスペンション(4 E-ハイブリッド、4Sモデル、ターボに標準装備)
- ポルシェ・トルク・ベクトリングプラス (PTV Plus)を含むポルシェ・ダイナミックシャシー・コントロール・スポーツ (PDCCスポーツ)
- パワーステアリングプラスを含むリアアクスルステア

### ブレーキシステム

- ポルシェ・セラミックコンポジット・ブレーキ (PCCB)

### ホイール

- 19インチ パナメーラ ホイール(4と4 E-ハイブリッドに標準装備)
- 19インチ パナメーラS ホイール(4Sモデルに標準装備)
- 20インチ パナメーラ ターボ ホイール(ターボに標準装備)
- 20インチ パナメーラ デザイン ホイール
- 21インチ 911ターボ デザイン ホイール
- 21インチ エクスクルーシブ デザイン ホイール
- 21インチ パナメーラ スポーツデザイン ホイール

## エクステリア

- メタリック塗装 (ターボに標準装備)
- スペシャルカラー
- 個別塗装
  
- シルバー (ハイグロスフィニッシュ) のサイドウインドウトリム (4Sモデル、ターボに標準装備)
- ブラック (ハイグロスフィニッシュ) のサイドウインドウトリム
- スポーツデザインパッケージ
- ブラック塗装 (ハイグロスフィニッシュ) のスポーツデザインパッケージ
- スポーツデザインサイドスカート
- ボディカラー同色塗装エアアウトレットトリム (ターボに標準装備)
- ブラック塗装 (ハイグロスフィニッシュ) のエアアウトレットトリム (4、4 E-ハイブリッド、4Sモデルに標準装備)
- ブラック塗装 (ハイグロスフィニッシュ) のドアオープナー
- 電動拡張式けん引システム

## ライトと視認性

- ポルシェ・ダイナミック・ライトシステム (PDLS) を含むLED ヘッドライト (ターボに標準装備)
- PDLS Plusを含むLEDマトリックスヘッドライト
- ティンテッドライトストリップを含むLEDテールライト
- アンビエントライト
- 自動防眩ドアミラー (4Sモデル、ターボに標準装備)

## エアコンディショナーとガラス

- 4ゾーンクライメートコントロール
- パノラミックルーフシステム
- プライバシーガラス
- 防音断熱ガラス
- プライバシーガラスを含む防音断熱ガラス
- リアサイドウインドウの電動ロールアップ・サンブラインド

- ヒーテッドステアリングホイール
- リモートコントロール付エンジン独立ヒーター
- 補助エアコン(4 E-ハイブリッドに標準装備)
- イオナイザー(車内の空気清浄)

## シート

- ドライバーメモリーパッケージ
- メモリーパッケージ付コンフォートフロントシート(14-way、電動)(ターボに標準装備)
- メモリーパッケージ付アダプティブスポーツフロントシート(18-way、電動)
- メモリーパッケージ付コンフォート独立リアシート(8-way、電動)(ターボに標準装備)
- ヒーテッドシート(フロント)(4Sモデルに標準装備)
- ヒーテッドシート(フロントとリア)(ターボに標準装備)
- シートベンチレーション(フロント)
- シートベンチレーション(フロントとリア)
- マッサージ機能(フロント)
- マッサージ機能(フロントとリア)

## セーフティ

- フロント助手席のチャイルドシート用ISOFIXマウントポイント
- リアサイドエアバッグ

## コンフォートシステムとアシスタンスシステム

- リアビューカメラを含むパークアシスト
- サラウンドビューを含むパークアシスト
- レーンチェンジアシスト
- 交通標識認識を含むレーンキーピングアシスト
- アダプティブクルーズコントロール
- アダプティブクルーズコントロールを含むポルシェ・イノドライブ
- ナイトビューアシスト

- コンフォートアクセス(キーレスオープン/クローズ)(ターボに標準装備)
- ソフトクローズドア
- HomeLink®(ガレージドアオープナー)

## オーディオとコミュニケーション

- BOSE®サラウンドサウンドシステム(ターボに標準装備)
- Burmester® 3Dハイエンドサラウンドサウンドシステム
- 6連CD/DVDオートチェンジャー
- デジタルラジオ
- ポルシェ・リアシートエンターテイメント

## ラゲッジコンパートメントと収納

- ラゲッジコンパートメントマネージメント
- ラゲッジコンパートメントの230V電源ソケット
- 収納パッケージ(無料オプション)
- スキーバッグ



## 燃料消費量とCO<sub>2</sub>排出量

パナメーラ4スポーツツーリスモ(：燃料消費量 10.0–9.9リッター/100km(市街地)、  
6.7–6.6リッター/100km(郊外)、7.9–7.8リッター/100km(複合)、CO<sub>2</sub>排出量 180–178g/km

パナメーラ4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモ燃料消費量 2.5リッター/100 km(複合)、  
CO<sub>2</sub>排出量56g/km、エネルギー消費量15.9kWh/100km

パナメーラ4Sスポーツツーリスモ燃料消費量 10.4–10.3リッター/100km(市街地)、  
6.9–6.8リッター/100km(郊外)、8.3–8.2リッター/100km(複合)、CO<sub>2</sub>排出量189–187g/km

パナメーラ ターボ スポーツツーリスモ燃料消費量 13.1–12.9リッター/100km(市街地)  
、7.4–7.3リッター/100km(郊外)、9.5–9.4リッター/100km(複合)、CO<sub>2</sub>排出量217–215g/km

パナメーラ4Sディーゼル スポーツツーリスモ燃料消費量 7.9リッター/100km(市街地)、  
5.9–5.8リッター(郊外)、6.8–6.7リッター/100km(複合)、CO<sub>2</sub>排出量178–176g/km